

ESD 推進ネットワークの達成目標等に照らした成果概要表

成果目標等			達成目標及び結果		備考												
成果目標 Outcome (2019 年度までにネットワークが実現していた状況)	評価指標 Indicator	データ Data	達成目標	これまでの成果													
1. 情報																	
① ESD 活動支援センター（全国・地方）が収集、整理、蓄積、共有する情報が ESD を深めるために（質的向上）、また広めるために（量的拡大）、有用なものになっている。	利用者にとって情報は役立っているか。	① 地域 ESD 拠点年次アンケート（問 III 1）	年次アンケート問 III 1（ESD 活動支援センター（全国・地方）が提供する情報は地域 ESD 拠点として役にたった）への 5 段階評価上位 2 項目への回答が 3 分の 2 程度以上である。	<p>2017 年度アンケート結果 集計 27 件、%で表示 上位 2 項目で 56%</p> <table border="1"> <tr> <td>①とてもそう思う</td> <td>②そう思う</td> <td>③どちらでもない</td> <td>④あまりそうは思わない</td> <td>⑤まったくそうは思わない</td> <td>⑥わからない</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>41</td> <td>33</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </table>	①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない	15	41	33	4	0	7	登録後まもないため経年変化をみるためのベースラインデータとして活用する。
①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない												
15	41	33	4	0	7												
同上	ウェブサイトでも有用な発信が行われているか。	② ESD 活動支援センター（全国・地方）ウェブサイトからの発信情報の件数	ESD 活動支援センター（全国・地方）からの発信情報の件数が一定数以上ある。	<p>2017 年度 全国センター発信件数 351 件 地方 ESD 活動支援センター発信件数合計 534 件</p>													
同上	同上	③ ESD 活動支援センター（全国・地方）ウェブサイトへのアクセス数	ESD 活動支援センター（全国・地方）ウェブサイト等へアクセスが一定数以上ある。	<p>2017 年度末 全国センターウェブサイト アクセス数 ・トップページのみ 11,299 件 ・すべてのページ合計 45,160 件</p> <p>地方 ESD 活動支援センターウェブサイトアクセス総数 ・トップページのみ 16,718 件</p>	2018 年度からは地方センターウェブサイトすべてのページへのアクセス数（ページビュー）をカウントできる。												

同上	同上	④ 全国センターウェブサイト等での情報発信内容	少なくとも以下の情報がタイムリーな形でウェブサイト等を通じて幅広い ESD 関係者に発信されている。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ESD に関する国、国の審議会等の重要な決定 ➤ ESD に関する重要なイベント情報 ➤ ESD に関する重要な報告 	ESD に関する国、国の審議会等の重要な決定 十分に発信できた。 ESD に関する重要なイベント情報 十分に発信できた。 ESD に関する重要な報告 基本的な情報は発信できた。	<ul style="list-style-type: none"> ● ESD 関係省庁連絡会議、ESD 円卓会議、SDGs 推進本部関係会議等の発信を継続する。 ● 重要イベントの年間カレンダーを作成・更新し、公開した。 ● 国際関係の情報の発信を強化する。
同上	同上	同上	ESD に関する重要な国際情報がセンターのウェブサイト等で発信されている。	ESD に関する重要な国際情報 ・ UNESCO MGIEP の情報をフォーラムで発信、SNS で発信 ・ 英国在住ギリシア人 ESD 研究者の情報を発信 ・ UNESCO から国連に提出された ESD に関する報告及び国連決議について適時に発信できなかった。	ESD に関する重要な国際情報を体系的に発信できる仕組みを全国センターで整える。
同上	同上	同上	国内情報の英語による国際的発信が行われている。	2017 年度は、業務として行わなかった。	2018 年度中に全国センターウェブサイトの新セクションを設け対応を開始する。
2. 支援体制					
② ESD 活動支援企画運営委員会（以下「企画運営委員会」）が、総合的な ESD 活動支援方策の検討やその実現に向けた全国センターへの指導・助言を行うための体制が整備されている。	企画運営委員会で ESD 活動支援方策に関わる議論が行われているか。	⑤ 企画運営委員会議事録	企画運営委員会で、ESD 推進ネットワークの効果的・効率的な活動に資する検討やその実現に向けた全国センターへの指導・助言が行われている。	企画運営委員会で様々な助言が行われた。ESD 活動支援センターとしてそれらの助言への対応に努めた。	2019 年度には、これまでの成果を踏まえ、2020 年度以降の ESD 推進ネットワークの効果的・効率的な活動に関する検討を行っていただく。
③ ESD を推進する多様な主体が参画する官民協働プラットフォームとしての ESD 活動支援センター（全国・地方）の整備が進み、ESD 活動に対する支援体制が機能している。	ESD 活動支援センター（全国・地方）の活動に多様な主体が参画しているか。	⑥ ESD 活動支援センター開設に関するウェブサイトでの発信	すべての ESD 活動支援センター（全国・地方）が開設・運営されている。	すべての ESD 活動支援センター（全国・地方）が開設・運営されている。	
同上	同上	⑦ 全国レベルのネットワーク可視化ツ	ネットワーク可視化ツールを用いた全国規模のネットワークについ	2016 年度には 11 団体に対して調査を行ったが、2017 年度に	2018 年度の交流を踏まえ、さらに調査対象と

		ールによる全国レベルの協力組織・団体の取りまとめデータ	て、協力組織・団体の数とタイプ、全国センターとの連携の程度、協力組織・団体の取組の多様性等に関し、経年的な改善がみられる。	は 28 団体に調査を拡大した。また、協力組織・団体の活動内容も多様化している。	る協力組織・団体を増やす。
同上	同上	⑧ 2017 年度地域 ESD 拠点との連携形態一覧	地方レベルのネットワーク全体の可視化ツールが開発され、経年的な改善がみられる。	地域 ESD 拠点数は、2017 年度末の 27 から 2018 年末には 67 に増加。連携に関する経年的変化は今後データの蓄積に伴い実施。	2017 年度の地域 ESD 拠点との連携形態表は作成済み。
同上	相談対応・ヒアリング等を通じて ESD 活動現場のニーズが把握され、効果的な支援が行われているか。	⑨ 相談対応・ヒアリングの件数	相談対応・ヒアリング件数が ESD 活動支援センター（全国・地方）で一定数以上ある。	<u>全国センター相談対応・ヒアリング件数（2017 年度）</u> 155 件 <u>地方センター相談対応・ヒアリング合計件数（2017 年度）</u> 408 件 *うち、北海道・東北・関東・中部・四国センターは、開設後の件数	地方センターとの役割分担をもとに、全国センターは全国対象、広域ブロックをまたがる相談、国際的なことに関する相談等に重点を置く。
同上	同上	⑩ 相談対応・ヒアリングの好事例内容	相談対応・ヒアリングを契機とする好事例があれば各センターから発信できている。	全国センターから活動レポートで発信した好事例は、朝日新聞社の賞の継続。	
同上	同上	⑪ 相談対応・ヒアリングによるニーズ把握内容	相談・ヒアリング、あるいは ESD 活動支援センター（全国・地方）への提案・要望等により各センターが関係者の具体的なニーズを把握できている。	地域 ESD 拠点へのアンケート、全国規模の協力団体への調査、全国フォーラムでのアンケート等から関係者の要望、意見等を把握。全国センターからは、地方に関する問い合わせは地方センターにつないでいる。	
④ 地域 ESD 活動推進拠点（以下「地域 ESD 拠点」）の創出、形成、強化が進んでいる。	学校教育、社会教育、地域、職場等での ESD 実践の支援が可能であるように地域 ESD 拠点が全国に形成されているか。	⑫ 地域 ESD 拠点リスト（広域ブロック及びセクターを表示）	地域 ESD 拠点が総数で、また基本的に各広域ブロックで、毎年増加している。	地域 ESD 拠点数は、2017 年度末の 27 から 2018 年末には 67 に増加。	
同上	同上	同上	2019 年度末には、すべての都府	2018 年末時点で全国 34 都道府	2018 年度内の拠点登録を

			県（北海道にあっては道南、道央、道東、道北の4圏域）で、少なくとも一つの地域 ESD 拠点が登録され活動している。	県で登録。	加速する。
同上	同上	同上	2019 年度末には、すべての広域ブロックで、以下のうち少なくとも三つのセクターを含む地域 ESD 拠点が登録されている。 ・教育関係機関・そのネットワーク ・高等教育機関・そのネットワーク ・地方自治体・行政・そのネットワーク ・公益法人/NGO/NPO ・企業およびそのネットワーク	2018 年末時点で全国 5 ブロックで達成	2018 年度内の多様なセクターによる拠点登録を加速する。
同上	同上	⑬ 地域 ESD 拠点年次アンケート（問 II 5、問 II 6）	年次アンケート問 II 5（地域 ESD 拠点としての課題、その改善のための提案など）及び問 II 6（地域 ESD 拠点による支援によって ESD の導入または加速につながった好事例）の自由記述により、地域 ESD 拠点の重点的活動や改善への努力の事例を取りまとめて発信できている。	年次アンケートの実施、全国フォーラムでの発表による好事例の発信	地域 ESD 拠点への支援・連携、協働を進め、好事例の発信に努める。
3. ネットワーク形成・学び合いの場					
⑤ 多様な分野で ESD の認知度が向上し、また理解が進み、多様なステークホルダーの間で経験の共有、ESD 推進の協働・連携の関係性が形成・促進されるような学びの場が持たれている。	ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（以下「全国フォーラム」）及びその他の学び合いの場はネットワークの形成・強化につながっているか。	⑭ 全国フォーラム及びその他の学び合いの場の参加者アンケート	ESD 活動支援センター（全国・地方）が開催する学び合いの場のアンケートにおいて、ESD に関する理解が進んだ、また、ネットワークを広めることができたとの回答が、半数を超える。	2018 年度の全国フォーラムのアンケート結果 ○ESD に関する理解増進： 上位 2 項目を合わせて 90% ○自らの ESD ネットワーク拡大に貢献 上位 2 項目を合わせて 85%	地方センター主催の学びあいフォーラム等のアンケートにおいても同様の間を可能な限り加える。
同上	ESD の認知度向上・理解の	⑮ 地域 ESD 拠点年次アンケート（問	年次アンケート問 III 2（ESD 活動支援センターや地域 ESD 拠点の	2017 年度アンケート結果集計 27 件、%で表示	登録後まもないため経年変化をみるためのベース

	促進は進んでいるか。	III 2)	活動により ESD の認知度の向上や理解が進んだ) に対して 5 段階評価上位 2 項目への回答が合わせて半数を超える。	上位 2 項目で 37%	<table border="1"> <tr> <td>①とてもそう思う</td> <td>②そう思う</td> <td>③どちらでもない</td> <td>④あまりそうは思わない</td> <td>⑤まったくそうは思わない</td> <td>⑥わからない</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>30</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>22</td> </tr> </table>	①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない	7	30	26	15	0	22	ラインデータとして活用する。
①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない													
7	30	26	15	0	22													
⑥	地域の様々な課題への取組や政策に ESD の視点と手法が取り入れられていると同時に、多様な学びの場とそれを支える政策に ESD の視点と手法が組み込まれ学びの質を高めている。	⑩ 地域 ESD 拠点年次アンケート (問 III 3)	年次アンケート問 III 3 (ESD 活動支援センターや地域 ESD 拠点の活動により地域の多様なステークホルダーの間で連携や協働が進んだ) に対して 5 段階評価上位 2 項目への回答が合わせて半数を超える。	2017 年度アンケート結果 集計 27 件、%で表示 上位 2 項目で 37%	<table border="1"> <tr> <td>①とてもそう思う</td> <td>②そう思う</td> <td>③どちらでもない</td> <td>④あまりそうは思わない</td> <td>⑤まったくそうは思わない</td> <td>⑥わからない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>33</td> <td>41</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> </table>	①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない	4	33	41	11	0	11	登録後まもないため経年変化をみるためのベースラインデータとして活用する。
①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない													
4	33	41	11	0	11													
同上	同上	⑪ 地域 ESD 拠点年次アンケート (問 III 4)	年次アンケート問 III 4 (ESD 活動支援センターや地域 ESD 拠点の活動により、地域の様々な課題への取組や、教育・学びの実践に、ESD が取り入れられる例が増えた) に対して 5 段階評価上位 2 項目への回答が合わせて半数を超える。	2017 年度アンケート結果 集計 27 件 %で表示 上位 2 項目で 40%	<table border="1"> <tr> <td>①とてもそう思う</td> <td>②そう思う</td> <td>③どちらでもない</td> <td>④あまりそうは思わない</td> <td>⑤まったくそうは思わない</td> <td>⑥わからない</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>33</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> </table>	①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない	7	33	26	15	0	19	登録後まもないため経年変化をみるためのベースラインデータとして活用する。
①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない													
7	33	26	15	0	19													

同上	全国センターは、関連事例を把握しているか。	⑱ 事例	全国センターから事例が発信できている。	全国フォーラム、地域での学び合いフォーラム、研修会等を通じて好事例の発信に努める。	地方センターとの連携により多くの好事例の発信に努める。												
4. 人材育成																	
⑦ 既存の研修等を活用し、多様な場でESD研修が実施されている。	ESD研修は広がっているか。	⑲ 各センターによる研修企画提案・実施協力実績	各センターにおいて、毎年、研修企画提案・実施協力実績がリストにまとめられ、支援メニューの多様化が確認できる。	全国センター及び一部地方センターにはリストがある。	共通フォーマットで情報収集を検討する。												
同上	同上	⑳ 地域ESD拠点年次アンケート(問II-7)	地域ESD拠点年次アンケート(問II-7)(ESDに関連する研修等(講座、インターン受入れ等を含む)の実施実績)の回答を集計した結果、地域ESD拠点が行う研修に、全国で一定以上の参加者がある。	2017年度アンケート結果 27拠点合計で282回 9,650名 *一部に登録前の研修が含まれている。	アンケートの質問項目を改善する。												
⑧ 多様な分野・セクターにESDを推進する多世代の人材が育成され、活動の場を広げている。	ESDを推進する人材の育成は進んでいるか。	㉑ 地域ESD拠点年次アンケート(問III 5)	年次アンケート問III 5(ESD活動支援センターや地域ESD拠点の活動によりESD実践者が増えた)に対して5段階評価上位2項目への回答が合わせて半数を超える。	2017年度アンケート結果 集計 27件、%で表示 上位2項目で40%	登録後まもないため経年変化をみるためのベースラインデータとして活用する。												
				<table border="1"> <tr> <td>①とてもそう思う</td> <td>②そう思う</td> <td>③どちらでもない</td> <td>④あまりそうは思わない</td> <td>⑤まったくそうは思わない</td> <td>⑥わからない</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>33</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> </table>	①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない	7	33	26	15	0	19	
①とてもそう思う	②そう思う	③どちらでもない	④あまりそうは思わない	⑤まったくそうは思わない	⑥わからない												
7	33	26	15	0	19												
同上	同上	㉒ 事例 ESD研修の広がりを示す好事例を、地域ESD拠点年次アンケート及び地方センターからの情報で捕捉する。	ESD活動支援センター(全国)から成果目標にふさわしい好事例が毎年発信されている。	2018年度には全国フォーラムで地域ESD拠点を中心に13件の好事例の発表が行われた。													